



Koryo 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
<https://kouryo-high-school.com> / メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

バンドクリニック開催

9月18日(木)、YAMAHAの森山さんを軽音楽部講師にお迎えし、バンドクリニックを開催した。クリニックは、楽器の指導にとどまらず、部室環境のチェックから始まった。ドラムや機材の配置を全部見直すところからスタートし、機材の特徴や特性に合わせた使い方、配置を教わった。生徒たちは、実際に歌や楽器演奏を行って各パートの音、バランスをより良くするためのノウハウを聞き、機材の配置の重要性を実感していた。続いて、ドラムが専門の森山さんから、バンドの軸となるドラム基礎を部員全員で学んだ。1年生の初心者に合わせて内容で今後の練習に生かせるものを指導していただき、さっそく練習している姿が部室のあちこちで見られた。最後に部員のリクエストでGLAYの「誘惑」をギター担当の部員とセッションした。セッションした木村未悠さん(1年・北稜中学校出身)は、「とても贅沢な体験でした」と感想を述べた。



秋の交通安全運動



9月24日(水)、イオン田向交差点で行われた秋の交通安全運動に向陵生が参加した。八戸警察署や八戸市役所の方々と自転車ヘルメット着用を呼びかけたのは、通学や部活動でいつも自転車を使用している黒澤小太郎さん(1年・亘理町立逢隈中学校出身)、木村優仁さん(1年・北稜中学校出身)、佐々木礼登さん、古館蒼空さん(ともに1年・江陽中学校出身)。4人は、通勤、通学途中の方や田向地区近隣住民に自転車ヘルメット着用啓発グッズを配布した。配布中、自転車に乗っている方は「人程度だったが、ヘルメットを着用している方は1割に満たなかった。そのうち高校生の着用率はゼロだった。本校は5月に青森県の高校では初となる「自転車ヘルメット着用モデル校」に指定されており、呼びかけに参加した4人は、高校生のヘルメット着用率を上げるべく「自分たちがしっかり被って地域住民に安全を啓発していきたい」と話した。



避難訓練



9月26日(金)、地震・津波を想定した3施設合同の避難訓練を実施した。2次避難後、隣接する千葉幼稚園、りんごっこ寿楽荘から避難協力要請が入り、救助に向かうという流れで行った。生徒たちは、幼稚園と寿楽荘とに分かれ、園児たちを本校2階以上へ避難させたり、寿楽荘の利用者の方々を車椅子、担架にて救助を行った。昨年よりも避難に時間



を要したが、園児や高齢者たちの歩く速度に合わせていたり、声掛けはできていたようだ。講評では、理事長から「災害に備えて『心・物・行動』の準備が大切」とのお話があった。

教育実習生研究授業

9月日(火)6校時、教育実習生の長谷川優羽先生(八戸学院大学4年)による研究授業が行われた。対象は3年2組で、情報I・情報通信ネットワークとデータ活用(「データベースの活用」)について学んだ。長谷川先生は、終始緊張しながらも、自身の経験や具体例を織り交ぜてデータベースの役割等を説明。机間巡視で生徒たちとコミュニケーションを取りながら一生懸命授業をしている姿が印象的だった。長谷川先生は大学卒業後、新潟県長岡市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「新潟アルビレックスBB」に所属する。



サッカー試合結果

《高円宮杯JFA U-18 サッカーリーグ 県1部2回戦総当たりラウンド》

○9月日(土)

向陵 3 - 1 八西

【得点】佐藤 蕾咲(3年・南足柄市立足柄台中学校出身)

長谷川 航太(2年・江東区立深川第四中学校出身) 2

○9月日(土)

向陵 0 - 4 三農恵拓



修光園十日市

施設見学・車椅子体験
↓窓拭き掃除

2年 頼住 隆汰(厚木市立小鮎中学校出身)
今回の体験で印象に残っているのは、車椅子体験です。車椅子に乗ったまま乗車できる車両を見学させていただきました。さまざまな種類の車椅子を、乗る側、押す側の立場で体験しました。押す側では、段差を上るときや、止まるときなど一つ一つの行動で声掛けし、安心してもらえるよう気を配りました。乗る側では、少し



▲太鼓部演奏 左から1年滝田裕人さん(第三中学校出身)、2年西野旬さん(大館中学校出身)、2年上井啓人さん(第二中学校出身)、3年龍田博彬さん(第一中学校出身)、1年佐々木琢登さん(是川中学校出身)

修光園サテライト

掃き掃除・リフト
↓車椅子体験
↓介護食体験



▲軽音楽部演奏 左から1年本田優愛さん(五戸町立五戸中学校出身)、1年佐々木清良さん(長者中学校出身)、2年中村梓萌さん(東中学校出身)、2年村田翼さん(湊中学校出身)

2年 本田 優月(湊中学校出身)
ボランティア講座をやってみて、介護職の方たちは、日々努力していると思いました。高齢者の方々が食事しやすいようにペースト状にしたり、入浴や排泄の補助をしたりするのは、自分にはできないので凄いなと思いました。自分が高齢になったとき、このようにサポートしてもらえたらありがた



▲軽音楽部演奏 左から1年本田優愛さん(五戸町立五戸中学校出身)、1年佐々木清良さん(長者中学校出身)、2年中村梓萌さん(東中学校出身)、2年村田翼さん(湊中学校出身)



いことだと思いました。でも、食事はペースト状ではなく、普通の物が食べたいし、自分のことは自分でやりたいと感じました。今からでも認知症予防を始めようと思いました。

3年 清水 菜名(白銀中学校出身)

今回の講座では、施設の掃除と介護体験をしました。車椅子は、一般的なもののしか知らなかったのですが、背もたれの角度を変えられるものや、利用者に合わせた車椅子があることを初めて知りました。また、食事については、上手に吞み込めない人のために、流動食が出されている。利用者の方々に合わせた工夫があり、職員の方々の気遣いを肌で感じる事ができました。

寿楽荘

ゲーム・施設内の掃除・レクリエーション

1年 三浦 小歩(市川中学校出身)

高齢者とおじいちゃん、おばあちゃんの違いについて学んだり、高齢者と若い人の生活の違いについても教えていただきました。高齢者の方は、朝起きるのがとても早く、早い人は3時には起き始めていることを知り、驚きました。夜中にトイレに行く回数も多く、8回行く人もいました。また、チラシで箱を折る折り方を施設の方に教え、一緒に作りました。協力してゲームもやりました。コミュニケーションを取るのには、難しかったですが楽しかったです。



▲軽音楽部演奏 左から1年木村未悠さん(北稜中学校出身)、1年田端みずほさん(長者中学校出身)、1年村木穂乃さん(東中学校出身)



高年齢の方々とチラシで箱を折りました。クイズや体を動かす風船リレー、紐を使っでコップを運ぶレクリエーションを楽しみました。高齢者と触れ合う機会はありませんでした。たぐさんの高齢者と交流できたことは良い経験になりました。また、高齢者に「伝える」難しさも感じた講座となりました。

ボランティア講座 9月17日(水) 実施

千葉幼稚園

講話・実習・イベント制作

3年 二部 真斗(第一中学校出身)



私は改めて子供の明るさや純粋さを感じました。私は、兄弟やいとこの中でも一番上なので、子供と接するのは得意な方でしたが、幼稚園はたくさんの子供がいて、一気に寄ってこれて困惑しました。私は、子供が大好きなので、終始楽しく過ごすことができました。子供から元気をもらいました。子供は純粋で自分の感情を表に出してくるので、喜んでくれるのが嬉しかったです。将来子供ができたなら、学んだことを生かそうと思います。

芽生保育園

園児と散歩・制作実習

1年 向井 彩音(根城中学校出身)



講座で学んだことが三つあります。一つ目は、限られた時間で効率よく作業する大切さです。イベントの装飾制作を手伝わせていただきましたが、今回は14人の生徒の手がありました。しかし、普段は先生方がいろいろな仕事を抱えながらの作業です。時間通りに終わらせることの大変さを知りました。また、子供が制作したものを親も子供も楽しく見ることができると言われていて、センスや器用さも求められていると思いました。二つ目は、コミュニケーションについてです。子供たちは打ち解けやすい子が多かったですが、会話の言葉選びや雰囲気作りもコミュニケーションには大事だと感じました。三つ目は、相手のことを考えた行動です。手を繋いで歩くときは、園児に速度を合わせる、話すときは視線を低くするなどです。今回学んだことを、次回のボランティアや、将来に繋げていきたいです。

青南病院

オリエンテーション・グループ実習・制作実習

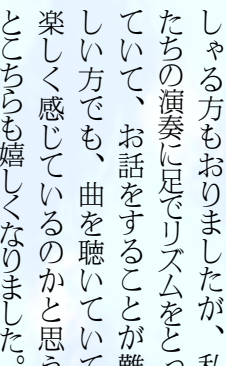


2年 貝吹 真広(明治中学校出身・写真右)
去年も青南病院のボランティアだったのですが、今年は

敷地内の別な施設「南寿の里」という場所で活動しました。南寿の里は、グループホームの介護施設で、お話ができる利用者さんと話をしました。自身の若い頃のお話を繰り返し返されていました。食事の準備では、利用者一人一人に合わせたご飯の量が決められており、盛り付けを手伝いました。また、軽音楽部として演奏をした時、笑顔で聴いて下さる方、手拍子をして下さる方がいらしかったです。中には若年性認知症を患っている方もいました。

見心園

高齢者体験・グループ実習



1年 居ケ内 瑠世(下長中学校出身)
見心園では、介護職の試食、車椅子体験、高齢者疑似体験をして、介護について学びました。車椅子は、操作が難しく、特にカーブが大変でした。午後は、高齢者の方々とトランプをしたり、話をしました。今回の講座で、介護についていろいろと学ぶことができて良かったです。

2年 佐々木 愛莉(根城中学校出身)
今回の講座で、おばあちゃん、おじいちゃんたくさん話しました。最初は緊張してあまり話せませんでしたが、自分から話しかけたり、施設の方に助けをもらいながら楽しむことができました。午前中は、高齢者疑似体験をしました。腰が曲がった状態で歩くのは大変でした。また、とろみ飯の体験もしました。普段、食べたことのない食感だったので驚きました。また、りんごジュースをゼリー状にして喉の通りを良くする体験もしました。ゼリー状の方が喉をつるつると通るので、とても飲みやすかったです。いろいろな意見がありました。

